

障害のある方のアート活動を牽引してきた全国の福祉施設で生まれた絵画、立体作品をはじめ、人と人との関わりから生まれた表現や人の手を借りて完成する作品、街を巻き込んでの活動など…。多様な表現のありかたを、それらの制作が生まれる現場の生の声とともにご紹介する展覧会です。

出展団体・トーク登壇者

ジョインクリエイティブマネジメント株式会社 嬉々!! CREATIVE

神奈川県平塚市。障害のある人が活躍するあらゆるクリエイティブ活動を行うアトリエ。企業とのコラボレーションやデザイン性の高いグッズが人気。誰もがその人の得意なことを活かし嬉々として創造的に暮らせる社会を目指す。

<https://www.kikicreative.jp/>

北澤 桃子

福祉施設管理者経験などを経て仲間と2021年にジョイン・クリエイティブマネジメント株式会社設立・代表取締役。福祉施設「嬉々!! CREATIVE」を運営。2022年一般社団法人ALTAM設立。



社会福祉法人 みぬま福祉会 工房集

埼玉県川口市。社会福祉法人みぬま福祉会を利用するメンバーの表現プロジェクトを社会につなげるための活動拠点として2002年に開設。「集」には、「新しい社会・歴史的価値観を創るためにいろんな人が集まっていこう、そんな外に開かれた場所にしていこう」という想いが込められている。

宮本 恵美

社会福祉法人みぬま福祉会工房集管理者、埼玉県障害者芸術文化活動支援センター「アートセンター集」事務局。埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±0を構築し、多彩な表現の魅力を発掘・発信する。



社会福祉法人 やまなみ会 やまなみ工房

滋賀県甲賀市。様々な表現から感じる個々の本質を大切に、感性とは何か、豊かさとは何かを考え、それぞれの可能性、そしてHAPPYが無限に広がる事を目指し活動している。近年は多くの作品が高い評価を得、展覧会などを通じて世界各国で紹介されている。

<http://a-yamanami.jp/>

山下 完和

やまなみ工房施設長。高校卒業後、様々な職種を経た後、支援員として勤務。互いの信頼関係を大切に、一人ひとりの思いやペースに沿って、伸びやかに、個性豊かに自分らしく生きる事を目的に様々な表現活動に取り組む。



認定NPO法人 La Mano クラフト工房 La Mano

東京都町田市。「La Mano」とはスペイン語で「手」を意味し、障がいのある人たちの仕事として、手しごとの物づくりをしていこうという思いから名付けられた。工房では、植物染料で天然繊維の糸や布を染め、織り、刺繍、絞りなどのオリジナル商品を製造販売。ユニークで魅力あるアートを発信している。

高野 賢二

クラフト工房 La Mano 施設長。学生時代に染色を学び、染色担当の指導員として染色の技術を生かし、障がいのある人達との物づくりを模索。2006年にはアート活動を始動、アート・クラフト・デザインの融合した商品制作に力を入れる。



特定非営利活動法人まる 工房まる

福岡市。障害のある約50名のメンバーが、3つのアトリエを拠点に絵画や陶芸など創作を中心に活動。様々な人々と「時間」や「空間」といった「間」を共有していく中で、インクルーシブな社会を望む人々のコミュニティを広げている。

吉田 修一

工房まる施設長。写真を学んでいた学生時代、卒制で訪れた養護学校や施設で湧きあがった疑問、気づき、経験が、工房まるの活動の礎となる。



池永 健介

工房まるスタッフ。作品展やイベント、およびグッズの企画を主に、作品のアーカイブ、権利関係の整備や、工賃体系などの仕組みづくりなどを担当。



特定非営利活動法人リベルテ

長野県上田市。障害のある人たちとともに、日々の何気ない「自由」や「権利」を尊重していける社会や人、関係づくりを行うことを目指している。福祉施設と地域の境界線を曖昧にするアートプロジェクト「路地の開き」を展開中。10月に「食堂」をテーマにした拠点を開くことを目指している。

武捨 和貴

リベルテ代表理事。福祉事業スタジオライトと特定相談支援事業所路地の管理者。2021年～「路地の開き」という福祉施設と地域の境界線を曖昧にしていくプロジェクトを行っている。妻、子2人と猫と暮らす。



前期「いま、気になる」あの子の表現 / 後期 ココまでキタ!! 表現活動支援の「いま」

会期 | 2023年9月1日(金)～10月31日(火) (前期/後期に分けて展示) ※10月3日(火)は展示入れ替えのためCLOSE
10:30～15:30 火～金曜日(祝日を除く)と下記日程のみOPEN

ギャラリー & カフェ OPEN / 9月16日(土)、10月21日(土)

ギャラリーのみOPEN(カフェはCLOSE) / 9月2日(土)、10月7日(土)

会場 | 神奈川県平塚市明石町14-8 嬉々!! CREATIVE GALLERY & CAFE (JR平塚駅西口から徒歩7分)

主催 | 一般社団法人ALTAM www.altamjpn.com

後援 | 神奈川県、平塚市、平塚市教育委員会

協力 | ジョイン・クリエイティブマネジメント株式会社 嬉々!! CREATIVE (神奈川)、認定NPO法人 La Mano クラフト工房 La Mano (東京)、社会福祉法人 みぬま福祉会 工房集 (埼玉)、特定非営利活動法人 工房まる (福岡)、社会福祉法人 やまなみ会 やまなみ工房 (滋賀)、特定非営利活動法人 リベルテ (長野)

本展は、公益財団法人ヤマト福祉財団の2023年度障がい者福祉助成金を受けて開催します。

ALTAM
We all have the talent to blossom

一般社団法人ALTAM(オルタム)は、「老若男女障害の有無を超え、だれもがそれぞれの得意なことを活かしてその人らしく活躍できる社会の実現」をコンセプトに、障害のあるアーティストの発表を応援します。
<https://www.altamjpn.com/>



いま、気になる
あの子の表現

9/1 Fri. - 29 Fri.
10:30-15:30

嬉々!! CREATIVE
クラフト工房 La Mano
工房集
工房まる
やまなみ工房
リベルテ

ココまでキタ!!
表現活動支援の!!

10/4 Wed. - 31 Tue.
10:30-15:30

9/23 Sat.
15:00-17:30

『地蔵とリビドー』
上映&トーク
[無料]

嬉々!! KIKI CREATIVE
GALLERY & CAFE



いま、気になる「あの人の表現」

9/1 Fri. - 29 Fri.

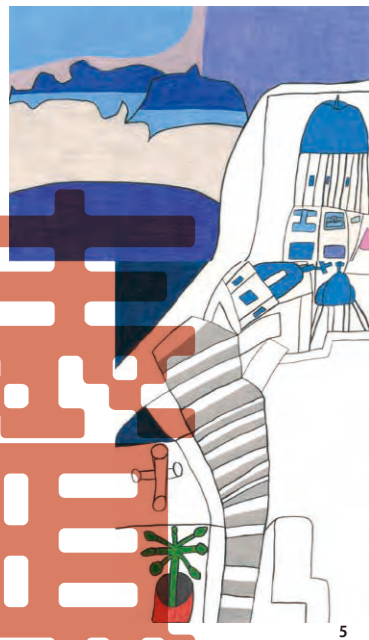
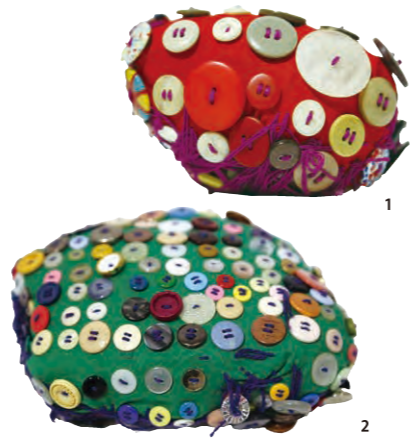
10:30~15:30
火~金曜日(祝日を除く)と下記日程のみOPEN
ギャラリー&カフェ OPEN / 9月16日(土)
ギャラリーのみOPEN(カフェはCLOSE) / 9月2日(土)

「いま、気になる」あの人の表現

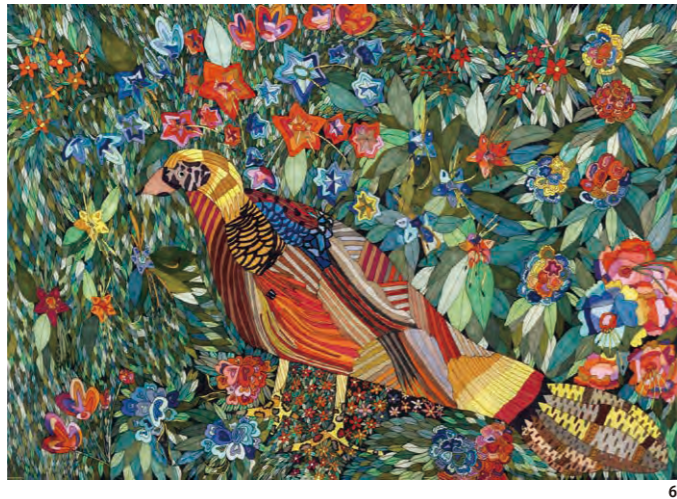
障害のある方のアート活動を牽引してきた全国の福祉施設で生まれた作品たちの中から、一度見かけたら忘れられない、印象的なアートをご紹介します。
15年前に見かけたあの名作から、いま、勢いのあるあのアーティストまで。
「この作風、見たことある!」そんな強烈な印象の作品が集まります!

出展

岩本義夫/水野貴男/横溝さやか(嬉々!! CREATIVE)
尾崎文彦(クラフト工房 La Mano)
納田裕加/横山涼/渡邊あや(工房まる)
柳田烈伸/山田恵子(工房まる)
井村ももか/鶴飼結一朗/上土橋勇樹/栗田淳一/中川ももこ(やまなみ工房)



1「赤い玉」井村ももか 2「みどりの玉」井村ももか
3「ヒコキ」横山涼 4「飛行機 スペイン」(部分) 渡邊あや 5「サントリー二島の朝と海辺の家」水野貴男 6「シャクナゲ畑にいるきんけい」山田恵子 7「ライオン」尾崎文彦 8右・左「無題」栗田淳一



9/23 Sat. 15:00-17:30

やまなみ工房

『地蔵とリビドー』上映&トーク【無料】

2018年に公開されて以来、日本各地で上映会が催されている『地蔵とリビドー』を上映します。上映後、「やまなみ工房」山下完和氏ほか、本展参加施設のスタッフによるトークを行います。



@平塚市美術館

日時 ● 9月23日(土) 15:00 ~ 17:30 (開場 14:30)
定員 ● 100名 参加費 ● 無料
出演 ● 山下完和(やまなみ工房) 吉田修一(工房まる)
宮本恵美(工房集)
進行 ● 北澤桃子(嬉々!! CREATIVE)
場所 ● 平塚市美術館 ミュージアムホール
〒254-0073 神奈川県平塚市西八幡1-3-3

参加のお申し込みは



● QRコードからお申し込みください。
● 定員に達し次第締め切ります。

メールはこちら info@jcm.ink

『地蔵とリビドー』(2018年 / 62分 / 日本)

独創的なアート作品を生み出し続ける障害者施設「やまなみ工房」。いま彼らの作品はアメリカやヨーロッパのアート市場を中心に世界的な注目を集めている。工房に通所するのは知的障害や精神疾患を持つアーティストたちだ。彼らは実名で登場し、その日常が包み隠さず描かれている。作品がいつ完成するのか、それは彼ら自身にもわからない。作品が誰にどう評価されるのか、彼らはまるで関心がない。ただ衝動のままに創作し続ける彼らの姿がそこにあるだけ。ひとつ事実として言えるのは、作品が彼らと他者との確かな結節点となっていることだ。/アウトサイダーアートに造詣の深いジャーナリストや美術関係者へのインタビュー、障害を持つアーティスト自らが語る「精神状態と創作の関係性」など、彼らの切実な表現欲求の根源を探るドキュメンタリー。

10:30~15:30
火~金曜日(祝日を除く)と下記日程のみOPEN
ギャラリー&カフェ OPEN / 10月21日(土)
ギャラリーのみOPEN(カフェはCLOSE) / 10月7日(土)

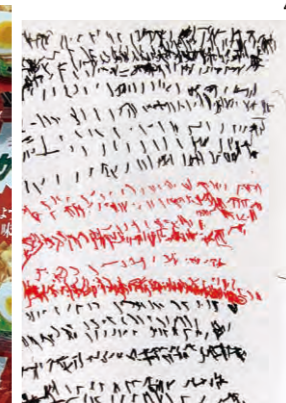
10/4 Wed. - 31 Tue.

ココまでキタ!! 表現活動支援の「いま」

福祉施設で生まれる表現はココまできた!!
いま、目の前にいる方の支援を突き詰めていくとどうなるのか!?
質的にも、量的にも圧倒される、
表現活動支援の「いま」をご紹介します。

出展

宮下和也/吉田秀斗(嬉々!! CREATIVE)
染織品/インスタレーション(クラフト工房 La Mano)
篠原誠/関口忠司/西野克(工房集)
100の陶器(工房まる)
井上優/酒井美穂子/山際正己(やまなみ工房)
インスタレーション/活動紹介(リベルテ)



1「ダンス」井上優 2「サッポロ一番」酒井美穂子 3左・右「アトリエrojiのドア」
4「日記」篠原誠 5クラフト工房 La Manoでの染色のようす 6「Choki熊手」宮下和也

10/21 Sat. 15:00-17:30

トークイベント

ココまできた! 表現活動「100のカップ」に聞く
ものづくり活動のいま × 施設の創作活動におけるお悩み相談会【無料】

それぞれの現場で試行錯誤して突き詰められていく表現活動支援。
工房まるの支援から生まれた「100のカップ」、職員が作ってるって本当!?
やまなみ工房の酒井さんは、いつから「サッポロ一番しょうゆ味」を擦っているの?
など、気になる表現と、その表現が発表されるに至った経緯まで、じっくりお話を伺います。
また、福祉施設の表現活動におけるお悩み相談会も実施。
この貴重な機会、ぜひご参加ください。



日時 ● 10月21日(土) 15:00 ~ 17:30 (開場 14:30)
トークの終了後、プチ交流会を予定しています。
定員 ● 30名 参加費 ● 無料
出演 ● 池永健介(工房まる) 高野賢二(クラフト工房 La Mano)
山下完和(やまなみ工房) 武捨和貴(リベルテ)
進行 ● 北澤桃子(嬉々!! CREATIVE)
場所 ● 嬉々!! CREATIVE GALLERY & CAFE
〒254-0042 平塚市明石町14-8

参加のお申し込みは

@嬉々!!
CREATIVE
GALLERY &
CAFE

● QRコードからお申し込みください。
● 定員に達し次第締め切ります。
メールはこちら info@jcm.ink

